



中山間地域道路等維持補修業務委託モデル事業の本格運用について

1. はじめに

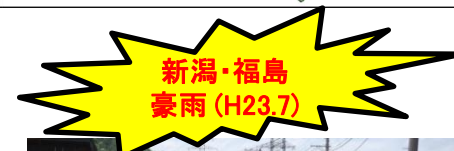
宮下土木事務所管内は、地形的にほとんどが中山間地に位置し、気候は日本海型気候に属し、道路は線形、勾配、幅員等の条件が厳しく、降雪量が多いところで約10.3mになります。また、高齢化・過疎化が進んでおり、山村振興、過疎、特別豪雪の特殊立法指定地域に指定されています。

県が管理する道路等の維持管理は、建設企業に委託し実施しているところではありますが、公共事業をめぐる厳しい状況の中で、地元建設企業は従業員の雇用や土木機械の保有維持が困難な状況になるなど、これらの業務委託の見直しが必要な状況となっています。このため、引き続き道路等を良好な状態に保ち地域住民の安全安心を確保するために、モデル事業の試行を始めました。



2. 経緯 ・ 課題

平成21年度から「中山間地域道路等維持補修業務委託モデル事業」(以下:「モデル事業」という)として、年間契約、業務の一括発注など新たな発注方式をモデル的に施行し、平成24年度に検討会を開催しモデル事業について評価をし、平成25年度から本格運用に移行しました。

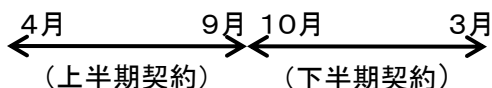


3. モデル事業の内容

【従来の契約方法】

- ・道路維持補修業務委託
 - ・除雪業務
 - ・舗装修繕業務委託
 - ・河川維持管理委託
 - ・砂防施設維持管理委託など
- 単
独
発
注

[契約期間]



[契約方法]

随意契約

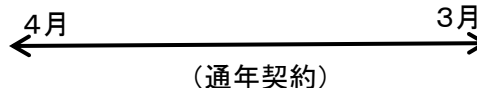
【モデル事業の契約方法】

- ◆新たな方式 (通年契約) + (一括発注) + (共同受注)

[委託業務の統合化]

道路維持補修業務委託 + 舗装修繕業務委託
+ 除雪業務委託 + 河川維持管理委託 など

[契約期間]



[契約方法]

公募型プロポーザル方式



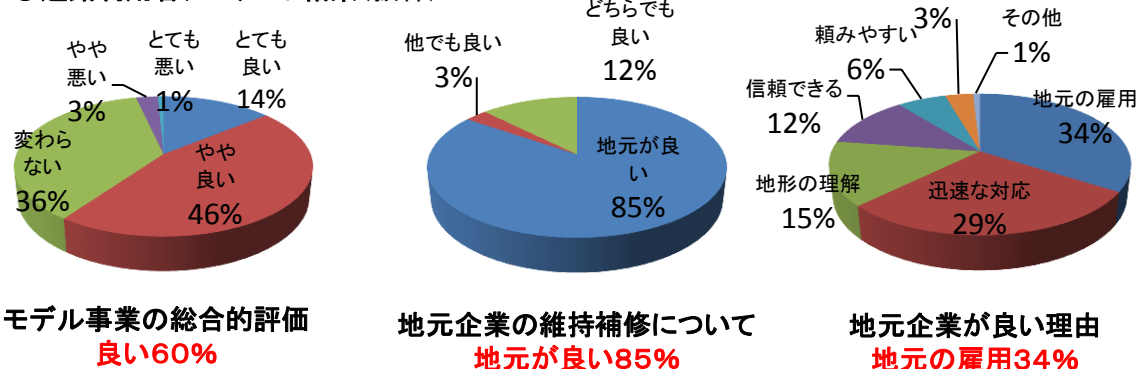
4. モデル事業の検証

モデル事業の有効性について、有識者や道路利用者等による客観的な評価を得るため、検討会による評価を行いました。評価の方法は、道路利用者(アンケート)、建設企業(モニタリング)、発注者(自己診断)の三者の視点により評価しました。検討会により評価した結果、モデル事業は奥会津地域にとって最良な手法という評価になりました。



検討会の様子

○道路利用者アンケート結果(抜粋)

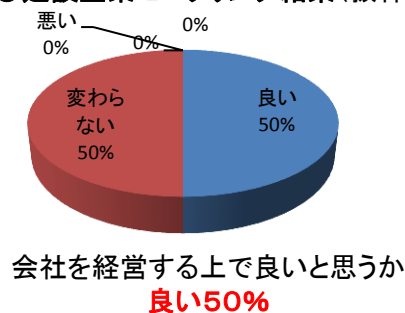


評 価

主な評価内容

- ・対象エリア: 地域を包括しており妥当
- ・契約方法: 現行制度上では妥当
- ・補完力・機動力: 企業倒産、新潟・福島豪雨豪雪時に実証
- ・雇用力: 地元雇用への期待が高い

○建設企業モニタリング結果(抜粋)



○発注者自己診断結果(抜粋)

- ・建設企業の倒産に柔軟に対応し、**住民の安全安心を継続して確保**することができた
- ・一括発注により、**発注事務の簡素化、監督業務の効率化**が図られた

新潟・福島豪雨 国道252号(柳津町大字飯谷地内)の道路崩壊に対する対応

7月30日13時40分道路崩壊発生
(全面通行止)

8月11日15時00分交通解放
(片側交互通行)



5. おわりに

モデル事業は、平成25年度から複数年契約により本格運用に移行していますが、今後、検討すべき課題があります。契約の透明性の確保、建設企業の人材の確保及び育成、他地域への導入、複数年契約の是非等です。